

「いよいよ祝日取引開始！

もしも、2022年GW中の米国市場乱高下に祝日取引ができていたら・・・」

北浜投資塾ウェビナー

「祝日取引開始と先物・オプション取引活用法」

Question & Answer

 オプショントレード普及協会
Option Trade Association

M&F ASSET ARCHITECT

※オプショントレード普及協会は株式会社M&F Asset Architectの活動上の通称です。

Question & Answer

<Question1>

仕掛けの手仕舞い(利食い、損切り共に)や、構築したポジションを变形させていくのが苦手です。触るべきとき、我慢するときの判断が曖昧なのかもしれません。なにかアドバイスをいただけますでしょうか。

<Answer>

オプションを機動的に売り買いしながらポジションを動かしていくのは相当難しいと思います。例えば、まず買いで入り、それが成功した後に売りを入れてフリートレードに持ち込む、といった方法や、ショートストラングルの戦略を組むために、まず上がったらコール売り、そこから下がったらプット売り、いったようにポジションを相場のうねりにあわせて構築していくといったような方法はなかなか難しい方法だと思います。今回のウェビナーで解説している戦略は、オプションを入れた後で、日経225miniを売り買いすることで少しずつ利益を積み上げていくという方法です。

Question & Answer

<Question2>

オプション取引に興味があり、先日、取引中の3つのネット証券で日経225miniから小口取引で学んでいこうと思いましたが、いずれもminiの取り扱いがありませんでした。miniが出来る証券会社は少ないのでしょうか？

<Answer>

日経225miniの取り扱いがない証券会社の方が少ないと思われます。

これはminiオプションのことをおっしゃっているのでしょうか？

仮に日経225miniであれば、取引所のホームページに取扱い業者一覧がありますので、こちらでご確認ください。

<https://www.jpx.co.jp/derivatives/securities-firms/index.html>

なお、miniオプションのことをおっしゃっているのであれば、以下の通り取引所のマーケットニュースをご確認ください。

<https://www.jpx.co.jp/news/2040/20220617-01.html>

大阪取引所は、市場参加者のニーズ等を踏まえ、株式会社日本経済新聞社が算出を行う日経平均株価を対象とした日経225マイクロ先物及び日経225ミニオプションを導入することとしますので、お知らせいたします。取引開始は、2023年度第1四半期を予定しております。

<https://www.jpx.co.jp/news/2040/20220826-01.html>

Question & Answer

<Question3>

主に毎週のSQ後に建て直すカバードコールを用いていますが、値が付かないためどうしてもatmからさほど離れていないものを売ってしまい、今年数回あった極端な上伸の時には、コールの損失に泣かされました。その戦略を知りたいです。

<Answer>

カバードコールはキャピタルゲインをコールのプレミアムに限定する代わりに、動かなくても、逆行しても（下落しても）、コールのプレミアム分は利益となることを狙う戦略です。

上昇した場合にコールが損失になることをあらかじめ引き受けている戦略ですから、上昇した場合は、基本的に成功したと考えるべきでしょう。

コールを売らなければよかった、とは思わず全体で結果を見るようにします。

なお、受け取りプレミアムよりも上がると思うのであれば、カバードコールを選択するべきではありません。

相場展開を予想し、上げて受け取りプレミアムよりは上がらないと予想できるときに仕掛けるなど、結局は投資判断による戦略の選択ということです。

Question & Answer

<Question4>

FOMC等自分で決めた重要指標を除くweeklyオプションの離れたところを5～10日前に上下共に売り、わずかな利益を得ています。結局、勝率は高くなるも費用対効果で満足な利益率を達成していません。証拠金を低額で抑える資金管理のよい方法があれば教えて欲しいです。

<Answer>

オプションの世界は勝率が高い＝負けるとき大きく負ける可能性がある、勝率が低い＝勝つとき大きく勝つ、ということが成り立っているために、売り買いが行われます。圧倒的にどちらかが有利であるはずもありません。勝率が高い戦略をとるならば、大きく負ける可能性があることを肝に銘じ、常にマーケットをモニターしながら危険を察知しなければなりません。ショートストラングルのような戦略は、無風ならばさほど難しさを感じることはありませんが、ひとたび、大きな動きに飲まれた場合には、突然、大きなオプションリスクが立ち上がってきます。その時点で、デルタを日経225miniでヘッジするという方法も考えられますが、すでに大きな損失を抱えている可能性が高く、精神的にも苦しい中、売りの枚数次第では、急激にデルタが増大し、日経225miniでヘッジすることが非常に難しくなってしまう可能性もあります。まさかに備え、オプションのリスクなどをしっかりと研究して理解したうえで、手掛ける戦略だと思えます。売りの外に買いを入れるアイアンコンドルの形にすれば、証拠金は多少抑えることができるかもしれません。

Question & Answer

<Question5>

リスクはありますが、FOMC等自分で決めた重要指標を除くSQ前日にatmに近い上下を売ります。これも証拠金の問題で想定の利益率を達成していません。証拠金を低額で抑える資金管理のよい方法があれば教えて欲しいです。

<Answer>

これはショートストラングルという戦略ですが、アウトオブザマネーのプットとコールを買う（アイアンコンドル）ことで証拠金を抑えられる可能性があります。

また、1日だけではありますが、夜間に大きな動きが出た場合には、miniでヘッジすることで、これに対応できる可能性があります。行って来いの動きが多いと、miniで損失が出ることとなります。

いずれにしてもリスクの高い取引だからこそ証拠金が要求されているわけで、そのリスクをしっかりと考慮して手掛けるべき戦略です。

Question & Answer

<Question6>

グリークスは証券会社によってことなりますか？

<Answer>

これは会社の使っている情報ベンダーの仕様による部分なのですべて一緒とは言い切れないというのが回答となります。

Question & Answer

<Question7>

できるだけ保守的な戦略についてポジション調整等も絡めて詳しく知りたいです。

<Answer>

今回ウェビナーの戦略や、天井圏でのプット買い、日経平均VI先物買い、天井付近でのプット買い+ mini買いなど

Question & Answer

<Question8>

日経225先物オプションのデルタヘッジの実例を使った解説を希望します。

<Answer>

まさに今回のウェビナーを参考になさってください。

Question & Answer

<Question9>

勝率の高いネガティブガンマでのデルタヘッジ手法にも興味があるのですが、ポジティブガンマと比較して教えていただけますでしょうか。

<Answer>

勝率が高いということは負けるときに大きく負ける可能性があることを意味しますので、ネガティブガンマ戦略はリスクの高い取引になる可能性があります。

それをダイナミックにデルタヘッジすることでガンマからの損失を小さくすることを試みることになります。

24時間ポジションを観察しながら、相場の動きに応じてデルタヘッジできる環境にあればよいですが、どうしても週末やマーケットがしまっている時間のギャップで負けてしまいます。

このあたりをしっかりとご理解のうえ、手掛ける必要があります。

その意味では、祝日取引が可能になるというのは、ギャップの機会が減るということの意味するとも考えられますので、今回のポジティブガンマの戦略同様、リスクを少し緩和することにつながるものと思います。

Question & Answer

<Question10>

日経225オプションの売り戦略を考えています。いつ、どの権利行使価格を、選定すれば良いか、悩んでいます。選定基準のヒントが得られればと思いセミナーを受講します。

<Answer>

デルタはその権利行使価格を上回る確率ですので、これを用いて、ご自身が許容できる確率のところ（権利行使価格）を売るという手が考えられます。デルタはその算出において時間とボラティリティを含む概念ですので、残存日数と現在のボラティリティを考慮した到達確率となっています。もちろん、この確率は計算上のものでありますし、また原資産の変動によってもデルタは変化しますので、当初の確率が絶対ということではありません。なお、売りの戦略は確かに勝率は高いわけですが、負けるときに大きく負けることで、買い戦略とバランスし、取引が成立しているにすぎません。大きく負けたくないためには、不断にマーケットをモニターしながら危険を敏感に察知するとともに、相場観を働かせることが必要になりましょう。そして、大きな動きが出たときのヘッジ等のスキルも重要な要素になってきます。その意味では、遠いところを売る戦略は、尻相場ならいいですが、万が一大きな動きに飲み込まれた場合は、後からオプションのリスクが大きく立ち上がってきますので、後で（損が出た状態で）苦しむこととなります。ショートストラドルは始めから最も高い状態でオプションリスクが立ち上がっており、オプションのリスク分析やヘッジのスキルが当然ないと始められませんので、最初から心構え、スキルがある状態で始めていることとなります。ショートストラドルのような遠くを売る戦略も、実は、オプションリスクが立ち上がることを最初から想定しておくべきだし、オプションリスクが立ち上がってきた場合に立ち向かえる程度の枚数で手掛ける必要があると思います。

Question & Answer

<Question11>

デルタにはガンマという変数がありますが、ヴェガにもガンマに相当する変数はありますか？

<Answer>

ガンマはデルタが原資産の変動によってどのように変化するかを知りたいために導いたものです。

つまりデルタを原資産価格で偏微分することで求められます。

同様に、ベガについても、原資産の変動でベガがどのように変化するかを知りたいければ、ベガを原資産価格で偏微分すればこれを求められます（バンナ）。

また、ベガの値がボラティリティの変動でどのように変化するかを知りたいければ、ベガをボラティリティで偏微分すればこれを求めることができます（ボルガ）。

さらには、ベガの値が時の経過によりどのように変化するかを知りたいければ、ベガを残存日数で偏微分すればこれを求められます。

視聴者のみなさんへお知らせ

当協会が出演した無料コンテンツ（リンク等）を体系的にまとめました。



<https://mf-aa.co.jp/225put>

※オプショントレード普及協会（株式会社M&F Asset Architect）が提供するWebサイトです



ブラウザのお気に入りに登録しておけばいつでもオプションの学習ができます。
わざわざ検索かけて探さなくてもよくなります。しかも体系的に並んでいるので便利です。

【PR】オプショントレード普及協会（株式会社M&F Asset Architect）は

「オプションを正しく広める」活動を行っています。



無料メルマガも配信中！

オプショントレード普及協会

検索



※オプショントレード普及協会は株式会社M&F Asset Architectの活動上の通称です。



日本取引|所グループ

東京証券取引所 大阪取引所 東京商品取引所 JPX総研
日本取引|所自主規制法人 日本証券クリアリング機構

免責事項

- ・本動画は、情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘や特定の証券会社等との取引を推奨することを目的として作成されたものではありません。
- ・株式会社日本取引所グループ、株式会社東京証券取引所、株式会社大阪取引所、株式会社東京商品取引所、JPX総研、日本取引所自主規制法人及び日本証券クリアリング機構（以下、総じて「JPX」といいます。）は、利用者に対して、本動画により生じたいかなる損害についても一切の責任を負いません。
- ・本動画で提供する情報については万全を期しておりますが、その情報の正確性を保証するものではありません。本動画の内容は、将来予告なしに変更される可能性があります。また、本動画の内容は過去の情報や実績を基に作成したものであり、将来の成果を予想するものではありません。
- ・本動画に係る一切の権利はJPXに属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ無断で複製、または加工・編集等はできません。